

令和 2 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子高等学校
校長 山 口 明 美

評 価 日	令和 3 年 3 月 1 8 日 (木)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ① 確かな学力の育成 ・ 学びたいことが学べる学校として、より一層カリキュラムの充実させてほしい。 ・ I C T 機器の活用授業は達成を大きく上回っている。 ・ 高度資格への合格率も目標を超えて、確かな学力の育成に向けて指導が充実され教職員の皆様の努力がうかがえた。 ・ RESAS を活用した取組は大変よい。市総合政策部長も継続かつ積極的に取り組みたいという意向を確認している。 ② 豊かな人間性の育成 ・ 生徒の自主活動が活発に行われていることを高く評価します。コロナ禍で大変ですが、今後も活動に期待します。 ・ 県民全てが命を守る行動としてヘルメットの着用に向かってほしい。 ・ 遅刻の減少、ヘルメットの着用は生徒の意識の向上の表れだと思います。更なる向上を願います。 ③ 自己実現のための進路指導の充実 ・ 進学希望の生徒の学力向上を図る指導体制に期待します。 ・ 進路指導が充実していることは西部地区の中学校でもかなり知られている事なので、大切に継続して行ってほしい。 ・ 学習成果発表会をコロナ対策して実施できたことに感謝したい。 ④ 地域との連携による学校づくり ・ 尚徳中学校区で C S が始まるので連携を図りたい。 ・ 新聞等メディアを活用した広報が上手くいっているので継続して取り組んでほしい。 (2) 説明・公表について 「保護者アンケート」 ・ 教育目標に基づき、実践が行われ成果が見られる。		・ 新教育課程に対応し、選択科目の効果的配置を検討したい。 ・ G I G A スクールにおける I C T の授業活用を更に推進する。 ・ 職業技術顕彰や各種検定の合格率を上げ進路指導に役立てたい。 ・ 来年度も取り組む予定である。
2 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ・ コロナ禍であり実施が難しい事業もある中で工夫をして取り組んでいる。		・ 米子高校ビジョンに示した重点校制度の柱に則って、今後も感染症対策をとりながら教育活動を実施していく。
3 取組改善のための提言 ・ 熟議は米子高校の課題や学校運営に直結したものにしたい方が効果的である。 ・ テーマ学習取組時に地元企業や住民と接点を持つと積極的な社会参画と情報発信につながると思います。 [令和 3 年度県立学校裁量予算について] ・ 継続、新規として変化のある多くの特色のある取り組みがあり、大変楽しみである。		・ 今年度は熟議を行って本校の課題を議論したが、学校の課題と地域連携における解決策を協議していきたい。